

まわりの声



今回の『まわりの声』は、町職員40年勤務、建設課道路管理(除雪等)で貢献の松崎一二(かつじ)さん(84才)から、お話を聞きました。(お住まい1区11町内)



Q 「議会だより」読んでの感想を伺います

A 「議会だより」は、毎回拝読しています。議員さんの、『一般質問や活動』が議会だよりを通じて知る事ができます。また『主な議案審議から』は、大変解りやすく読みます。

Q 妹背牛町は住み易いですか、日頃感じていることは

A 妹背牛町に住んで、60年になります。大変住みやすい街だと感じています。

① J R 函館本線の駅、札幌市、旭川市への、交通の利便性が高く、災害が少ない街です。

② 冬は寒さ・降雪との奮闘の日々ですが、時間を見つけての家庭菜園や山菜とり・釣りなど心身ともにいい町です。

③ 『ゆるやかな見守り』、適度な安全安心なまちにしたいです。

Q 日頃感じておられる町のことに意見はありませんか？

A 妹背牛町にはイベントが沢山ありますが、

① 『笑顔でお誘い参加する』ことができるイベント(遊歩市・各祭り・夏のビールパーティ・わかち愛もせうしなど)の企画推進に日々感謝しています。

② 『温泉ペペル』が町内・外から多くの客が立ち寄って頂けるよう

更に工夫と町中の商店にも活用出来ればと思います。

③ 夏はキャンプ場「テントが張れる場所に工夫、炊事場、既存の食堂、コンビニの案内」設備箇所の併用でコスト考慮できる。(場所・トイレ・駐車場など併用する)

④ ドックラン併設(設置場所や管理)も良いと思います。

Q 妹背牛町への要望や何かお気づきの点がありますか

A ① 基幹産業の農業について、最先端技術と機械導入、圃場整備などを応援し、規模を拡大して発展に期待したい。

② 町の人口に比例して議員定数・待遇の見直しをしてはいかがでしょうか。

Q 妹背牛も活気ある未来

A 現在は町民2580人の人口の中で年々減少します。商店、農業、工業等勤務の方、若者が、(好)齢者が住みやすい、住んでいてよかったというマチづくりも大切かと思えます。農・商業後継者育成を町民のみなさんと議会でき取りあげていければと思います。

編集後記

令和7年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことに、心からお喜び申し上げます。

昨年は妹背牛温泉ペペルもリニューアルオープンし、サウナが好評なこともあり順調に推移しているようです。

町議会も9月に道外視察を実施し、千葉県、茨城県において廃校を利用した施設の研修をし、今後の町政の参考にしたいと思います。

12月の第4回定例町議会において、令和5年度の一般会計および特別会計の決算認定もされました。また町政に対する5名の議員の一般質問が行われました。

令和7年は巳年であり改革の年とされています。議会としても議会改革特別委員会を立ち上げましたが、議論を充分にしながら改革に向かっていきたいと考えています。今後とも議会だよりを通してながら、議会活動をお伝えできるよう努めてまいります。町民の皆様のご意見やご要望をお寄せいただきますようお願いいたします。

広報特別委員会

- 委員長 中山 義博
- 副委員長 成瀬 勝幸
- 委員 鈴木 正彦